

Vol.
688

発行所 ■ 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL. 03-3294-8821 (代)

東京都医師会 定例記者会見	01
底流／地区医師会長連絡協議会報告 ほか	02
第31回 日本医学会総会2023東京	03
TMA近未来医療会議 出版記念報告会 ほか	04
みどりの広場 ほか	05
ふれあいポスト	06
都医からのお知らせ ほか	07
地区医師会長からの一言	08

定価■1部77円



隅田公園のアジサイ

新型コロナウイルス感染症 5類移行に伴う課題と対策



猪口副会長

尾崎会長

鳥居理事

尾崎治夫会長は「今後の新型コロナウイルス対策は都民の皆さんの自主性に任せることとなるが、新型コロナウイルス自体がなくなっただけではなく、一人ひとりの心掛けが重要になる。新型コロナウイルスの治療薬とワクチンは引き続き無料であり、これらを上手く活用して重症化予防・感染予防に役立てることが大切だ。特に高齢者や基礎疾患のある方は、下がっている抗体価を上げるために、ぜひ追加接種を受けてほしい。また、治療薬には症状

5類移行後も
新型コロナウイルス感染拡大
防止対策にご協力を

東京都医師会は5月9日（火）に定例記者会見を開催し、5月8日（月）に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行されたことに伴い、今後の課題と対策について見解を示した。

猪口正孝副会長は「現在新規感染者数は少しずつ確実に増えていると思われるが、緩やかな増加にとどまっている。医療提供体制も通常医療との両立が可能な状況ではあるが、引き続き感染状況の推移に注意が必要だ」と述べた。

5類移行後の モニタリング体制

鳥居明理事は5類移行後の医療機関へのかかり方について

5 類移行後の医療機関へのかかり方

型コロナが高齢者にとって生死に関わる感染症であることに変わりはない。高齢者施設で働く職員は、実際にクラスターなどの悲惨な光景を目にした経験から、今後とも感染対策を緩めることはできないと感じている。東京都医師会では、地区医師会の高齢者施設への医療支援体制の構築支援や、高齢者施設間の医療体制の格差是正に向けて東京都と検討を進めるなど、取り組みを強化していく」と語った。

5類移行後の 高齢者施設の 感染対策

平川博之副会長は「感染症
法上の類型が変わっても、新

尾崎会長は「コロナ禍で在宅勤務やオンライン授業などが増え、以前のように企業や団体等で実施する献血への協力件数が減ってしまった。コロナ禍の収束により手術などの輸血が必要な医療が再開されるなか、輸血用血液製剤が不足している。東京都医師会では今年で3回目となる献血会を開催し、近隣の企業等に對しても協力をお願いしている。ぜひ、献血活動へのご協力をお願いしたい」と訴えた。

献血へのご協力を！

受診の際には、必ず事前に電話連絡をしてから来院し、医療機関の中ではマスク着用をお願いしたい。また、療養後に後遺症が疑われる場合には、相談窓口へ連絡してほしい」と説明した。

底流

医療におけるマクロ的視点とミクロ的視点

新型コロナウイルスによるパンデミックでは、我々医療者と社会とのリスクコミュニケーションの難しさを思い知らされた。

『Life is a tragedy when seen in close-up, but a comedy in long-shot.』（人生は近くで見ると悲劇だが、遠くから見れば喜劇だ）は、喜劇王チャールズ・チャップリンが自分の境遇と重ね合わせた名言である。似たような発想でマクロ経済とミクロ経済がある。マクロ経済は国のレベルで経済状況を計るもので、ミクロ経済は企業や家計単位で

ンや治療薬ができてからは大きく作戦が変わった。こうした社会活動を守るための医療が、いわばマクロ的医療である。

一方、感染者からすれば命に関わる重大な病気である。中等症・重症の陽性患者には入院治療を行い、自宅療養・宿泊療養の無症状・軽症の患者にも健康観察し、症状の悪化があれば往診やオンライン診療などを行ってきた。こうした人の病気として捉えた医療がミクロ的医療である。

病気の真相を遠くでしか見ることできない一般社会は、マクロの視点に偏りがちで、多くの情報があってもさまざまなバイアスがかかり、ただの風邪であると軽めに見たり、医療界の対応が悪いと

東京都は、新型コロナウイルス感染症の感染状況や医療提供体制等を分析評価し、東京都に助言を続けてきた医師や感染症の専門家に対し、感謝状を贈呈した。

贈呈式は5月18日（木）に東京都庁で行われ、小池百合子東京都知事から本会の猪口正孝副会長ら5名に感謝状が手交された。猪口副会長は、東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議のメンバーとして2020年より継続的に都内の感染状況を分析し、東京都の新型コロナウイルス対策に協力した。

東京都の新型コロナウイルス対策に尽力 都知事から感謝状



猪口副会長

地区医師会長 連絡協議会報告

令和5年5月19日（金）

◎都医からの伝達事項

（１）新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、保育所における感染症対策ガイドラインが一部改定されたので情報提供する。

（２）東京都新型コロナウイルススワクチン接種促進支援事業の終了について

標記事業について、東京都での対応が令和5年3月末日をもって終了となり、令和5年度の支援は区市町村を主体として実施される。対象は診療所のみとなり、時間外、夜間または休日に係る接種体制の用意等の条件が加わり、5月から8月末まで2期に分け

て実施される。

（３）令和5年度東京都外来対応医療機関設備整備事業の補助対象の拡充について

東京都では、通常医療と感染症医療を両立できる体制の整備を目的として、診療所内をゾーニングするために新規購入した医療器材費用を補助する標記事業を実施している。このたび補助対象が拡充され、申請期限が6月2日（金）まで延長されたので、情報提供する。

（４）令和5年度PCR検査等感染症検体検査機器設備整備費補助事業に係る申請手続き等について

都内の多くの医療機関が

新型コロナウイルス感染症等の発熱患者等の診療・検査を行うことができる体制を確保するため、検体検査機器設備整備費を東京都が補助する標記事業が実施される。1医療機関あたり対象機器1台のみの申請が可能であり、東京都への申請期限が6月21日（水）までとなっている。

（５）令和4年度在宅難病患者訪問診療事業地区医師会実施状況（第4四半期）について

まとめた書籍「近未来のTOKYO医療に希望はあるか？」を5月19日（金）に発売する。6月上旬頃に地区医師会へ各30部送付するので、役員等に配布いただきたい。

また、まとめた書籍「近未来のTOKYO医療に希望はあるか？」を5月19日（金）に発売する。6月上旬頃に地区医師会へ各30部送付するので、役員等に配布いただきたい。

◎地区医師会からの報告

（１）中央ブロック

（２）城東ブロック

（３）城西ブロック

（４）城南ブロック

（５）城北ブロック

（６）多摩ブロック

（７）大学ブロック

（８）都立病院医師会

（９）地域連携に関するチラシの紹介について

◎出席者による意見交換

◎その他

新地区医師会長の紹介があり、矢口有乃会長（女子医大）、中島耕一会長（東邦大）から挨拶があった。

新地区医師会長の紹介があり、矢口有乃会長（女子医大）、中島耕一会長（東邦大）から挨拶があった。

新地区医師会長の紹介があり、矢口有乃会長（女子医大）、中島耕一会長（東邦大）から挨拶があった。

新地区医師会長の紹介があり、矢口有乃会長（女子医大）、中島耕一会長（東邦大）から挨拶があった。

新地区医師会長の紹介があり、矢口有乃会長（女子医大）、中島耕一会長（東邦大）から挨拶があった。

新地区医師会長の紹介があり、矢口有乃会長（女子医大）、中島耕一会長（東邦大）から挨拶があった。

新地区医師会長の紹介があり、矢口有乃会長（女子医大）、中島耕一会長（東邦大）から挨拶があった。

新地区医師会長の紹介があり、矢口有乃会長（女子医大）、中島耕一会長（東邦大）から挨拶があった。

日本医師会 医師年金 スマホ・パソコンで簡単手続き

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
(申込みは、満64歳3カ月までをお願いします)

アニメーションで仕組みを確認

シミュレーションで保険料を試算

一括払専用加入申込書プリントアウトで申込み
(保険料のお支払いは後日ご案内します)
※重要事項説明書をよくお読み下さい(申込書の3、4ページに記載)

お問い合わせ先
日医 年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半～17時)

都医ニュース2号(昭和36年2月発行)をお持ちの方はご一報ください
東京都医師会広報事務局
☎ 03-33294-8821

第31回

日本医学会総会2023東京

4月21日(金)~23日(日)

テーマ

ビッグデータが拓く未来の医学と医療

~豊かな人生100年時代を求めて~



医師体験の様子



東京都医師会のブース

第31回日本医学会総会博覧会は、東京国際フォーラム地下2階のホールEにおいて開催された。23のブースが立ち並び、多くの医療関係団体や企業が参加した。休日ということもあり人出も多く、(土)・23日(日)に、4歳から小学校4年生までの子どもたちが医師の仕事体験した。保護者が患者役となり、子どもたちは白衣を着て事前準備された問診票を記入し、パルスオキシメーターの測定や心臓音等の聴診をし、巨大おみくじを用意した。また、ブース内に設置したタブレットには、おみくじと東京都医師会ホームページにリンクするQRコードを印字したカードを入れた。iPadを使用したセルフチェックでは、参加者は自身のロコモやサルコペニア、フレイルに関する健康チェックを行った。本セルフチェックソフトには、順天堂大学スポーツ健康科学部の沢田秀司助教にもご協力いただいた。地の利が生かされ、終日盛況に賑わった博覧会であった。



ジョギング(4月23日)



ラグビーフットボール(4月23日)

来場者のほとんどは親子連れであった。テーマ展示の一つ「子どもたちと学ぶ医療」では、東京都医師会理事の協力のもと、4月22日(土)・23日(日)に、4歳から小学校4年生までの子どもたちが医師の仕事体験した。保護者が患者役となり、子どもたちは白衣を着て事前準備された問診票を記入し、パルスオキシメーターの測定や心臓音等の聴診をした。

来場者のほとんどは親子連れであった。テーマ展示の一つ「子どもたちと学ぶ医療」では、東京都医師会理事の協力のもと、4月22日(土)・23日(日)に、4歳から小学校4年生までの子どもたちが医師の仕事体験した。保護者が患者役となり、子どもたちは白衣を着て事前準備された問診票を記入し、パルスオキシメーターの測定や心臓音等の聴診をした。

来場者のほとんどは親子連れであった。テーマ展示の一つ「子どもたちと学ぶ医療」では、東京都医師会理事の協力のもと、4月22日(土)・23日(日)に、4歳から小学校4年生までの子どもたちが医師の仕事体験した。保護者が患者役となり、子どもたちは白衣を着て事前準備された問診票を記入し、パルスオキシメーターの測定や心臓音等の聴診をした。

来場者のほとんどは親子連れであった。テーマ展示の一つ「子どもたちと学ぶ医療」では、東京都医師会理事の協力のもと、4月22日(土)・23日(日)に、4歳から小学校4年生までの子どもたちが医師の仕事体験した。保護者が患者役となり、子どもたちは白衣を着て事前準備された問診票を記入し、パルスオキシメーターの測定や心臓音等の聴診をした。

博覧会

た。隣のブースでは、東京都看護協会の協力で妊婦体験などが行われた。

東京都医師会では、ヘルスリテラシーの啓発をテーマにブースを出展した。体を動かすことを目的として、音楽ゲーム「太鼓の達人」(心臓マッサージの速さのテンポの曲を使用・100〜120回/分)や、大きく振って引く巨大おみくじを用意した。

本大会では、ソーシャルイベントとしてスポーツ系6競技、文化系6イベントが開催された。令和4年9月18日(日)に行われた卓球大会から令和5年5月14日(日)に行われた硬式テニス大会まで、秩父宮でのラグビーフットボール大会の懇親会等に参加した。盛り上がりや達成感、一体感はとても大きくなり、物凄い熱気を感じ、エネルギーをもらった。今後でも



軽音楽(4月22日)

有した。本イベントの開催にあたっては、約3年前からそれぞれの団体責任者が数カ月1回打ち合わせを行い、準備を重ねてくださったお陰でとても意義深いものとなった。これまでの関係各位の

有した。本イベントの開催にあたっては、約3年前からそれぞれの団体責任者が数カ月1回打ち合わせを行い、準備を重ねてくださったお陰でとても意義深いものとなった。これまでの関係各位の

有した。本イベントの開催にあたっては、約3年前からそれぞれの団体責任者が数カ月1回打ち合わせを行い、準備を重ねてくださったお陰でとても意義深いものとなった。これまでの関係各位の

有した。本イベントの開催にあたっては、約3年前からそれぞれの団体責任者が数カ月1回打ち合わせを行い、準備を重ねてくださったお陰でとても意義深いものとなった。これまでの関係各位の



ラグビーフットボール



硬式テニス



卓球



ボウリング



柔道



ジョギング



囲碁



アマチュア無線



美術



洋楽



写真



軽音楽

医学会総会

ソーシャルイベント

有した。本イベントの開催にあたっては、約3年前からそれぞれの団体責任者が数カ月1回打ち合わせを行い、準備を重ねてくださったお陰でとても意義深いものとなった。これまでの関係各位の

有した。本イベントの開催にあたっては、約3年前からそれぞれの団体責任者が数カ月1回打ち合わせを行い、準備を重ねてくださったお陰でとても意義深いものとなった。これまでの関係各位の

有した。本イベントの開催にあたっては、約3年前からそれぞれの団体責任者が数カ月1回打ち合わせを行い、準備を重ねてくださったお陰でとても意義深いものとなった。これまでの関係各位の

故鈴木聰男先生を偲んで



に就任しました。また、平成9年には東京都医師会理事、平成15年に同副会長、平成18年に同会長に就任しました。更に、平成18年には日本医師会理事に就任し、長年にわたり

の協力のもと日本医師会「JMAT」を編成して被災地に派遣し、先生の迅速な対応は大きな評価を得ました。このほか幾多の実績を残されましたが、先生の洞察力と決断力、指導力、実行力は近年の東京都医師会の活動と運営に大きな成果をもたらしました。

今、私の手元にある平成28年8月号（第606号）の都医ニュースには、先生の旭日中綬章受章祝賀会の記事が大きく掲載されています。先生の元氣な笑顔と奥様の晴れやかなお姿が目に入ります。

そして、同紙面には東京都医師会新会館竣工の記事があり、「災害緊急対策拠点にも期待」とあります。先生は前会館の全面的な改装にあたり、医師会館の機能性を発揮するため情熱を込めて取り組んでおられました。新会館はそれらを全て踏まえて完成し

たのです。旧会館新設の竣工祝賀会は昭和48年の秋でした。当日来賓として参加された元日本医師会長の武見太郎先生は祝辞のなかで「東京都医師会の文化的使命は、この大東京に有効な地域医療システムを築くことにある」とお話しになりました。そして武見先生と昵懇であった渡辺真言元東京都医師会長は「政治なくして医療なし、医療なくして医療なし」と遺されています。この話を、先生は幾度となく話されていました。思い起こせば、先生のお気持ちに感じます。

鈴木先生、東京都医師会の文化的使命は大夫夫です。これからも心温まる医療、届ける医療、寄り添う医療に励みます。本当にありがとうございました。どうか、ゆっくりとお休みください。心からご冥福をお祈りします。

元日本医師会長
元東京都医師会長
唐澤祥人

令和5年3月1日に東京都医師会長の鈴木聰男先生がご逝去されました。鈴木先生は、東京都医師会長として平成18年5月から平成23年3月までその重責を担われ、東京都の医療体制の確保に尽力されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

先生は、昭和39年に東京医科歯科大学医学部を卒業し、昭和44年に同大学院を卒業され、医学博士学位を授与されました。また、国立公衆衛生院専攻課程医学科に学び、昭和42年に修了されました。昭和44年には東京医科歯科大学文部教官に就任して更に研鑽を積まれ、その後、昭和47年に渋谷区で鈴木医院进行開設されました。

地域住民の疾病治療と予防等に努めるなか、温厚で忍耐強いお人柄と説得力、高い洞察力、強い責任感と指導力は行政関係者および医師会関係者、そして地域住民から厚い信望を得ました。昭和56年に渋谷区医師会理事に就任したことを皮切りに、昭和63年に同副会長、平成5年に同会長

に就任しました。また、平成9年には東京都医師会理事、平成15年に同副会長、平成18年に同会長に就任しました。更に、平成18年には日本医師会理事に就任し、長年にわたり

の協力のもと日本医師会「JMAT」を編成して被災地に派遣し、先生の迅速な対応は大きな評価を得ました。このほか幾多の実績を残されましたが、先生の洞察力と決断力、指導力、実行力は近年の東京都医師会の活動と運営に大きな成果をもたらしました。

令和4年度東京消防庁

「消防行政特別協力章」

東京消防庁では、長年にわたり消防行政の発展、消防業務の推進または消防施設の充実に貢献し、その功労が特に顕著な個人に対して「消防行政特別協力章」を贈呈している。令和4年度は、東京

都医師会から猪口正孝副会長が受章した。

受章式は3月6日（月）に東京消防庁消防学校で行われ、清水洋文東京消防庁消防総監（当時）より表彰状が授与された。



猪口副会長と清水東京消防庁消防総監（当時）

都医ニュース表紙の
写真を募集

本ニュースは毎月、季節に合った東京の写真を表紙に掲載しております。その表紙写真に、先生が撮影した写真を応募してみませんか？ 都内の写真で、季節感のあるものをお願いします。本会広報委員会で掲載を決定いたします。なお、掲載された写真は、本会のホームページにも掲載させていただきます。

応募規定
デジタルカメラやスマートフォンで撮影した600万画素以上（横3000×縦2000ピクセル以上）のデジタルデータ
プリントサイズは、横235mm×縦137.5mm以上

応募・問い合わせ先

〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台 2-5
東京都医師会 広報学術課 ☎ 03-3294-8821（代）
kouhou@tokyo.med.or.jp



座談会の様子

TMA近未来医療会議出版記念報告会
TMA近未来医療会議の提言をまとめた書籍『近未来のTOKYO医療に希望はあるか？』KYO医療に希望はあるか？の出版記念報告会が、5月19日（金）に東京都医師会館で開催された。会場には多数のメディア関係者も参加した。座談会では、黒瀬慶理事が司会を務め、香取照幸委員長、第3クルールの和田耕治座長、尾崎治夫会長、平川博之副会長の4名が登壇した。尾崎会長は「東京では人口が増加して医療需要はますます多くなっている。『東京』という特殊な地域では医療課題が大きく、医療財政も考えなければならぬ。本書籍には、このTMA近未来医療会議で熱心に検討を重ねた成果が一般読者向けにわかりやすくまとめられているので、ぜひ手に取っていただきたい」と述べ、また今後本会議を継続していく意向を示した。香取委員長、和田座長からは各クルールに対するコメントが述べられ、毎回3時間以上の白熱した討議が行われたことが語られた。平川副会長は「本会議には医師だけでなく、多くの学識経験者・有識者にご参加いただいた。発足当初、専門の違いから意見が噛み合わないこともあったが、会を重ねるごとに各メンバーが本音で話せる良い会になった」と会議の様子を振り返った。

この本を先着300名様にお送りいたします。ご希望の方は下記QRコードからお申し込みください。

[URL]
<https://forms.gle/guRHVaEggohb9VVK9>

申込締切：令和5年7月18日（火）

※定員になり次第、受付終了とさせていただきます。



東京都医師会ホームページ
TMA近未来医療会議



質疑応答では、尾崎会長が記者からの質問に答え、平川副会長の閉会挨拶で終了した。なお、本報告会の模様は、後日、本会ホームページに掲載される予定である。

183
みどりの
広場精神科病院における
不時への備え地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立松沢病院院長 水野雅文

都立松沢病院は、明治12（1879）年創立、今年144年を迎える、現存する公立病院としては日本で最古・最大規模の精神科病院です。世田谷区上北沢の6万坪の敷地に免震構造7階建ての本館のほか、患者さんの社会復帰に必要なさまざまな施設や設備を擁しています。

政法人への移行後も、大都市圏を医療で支えるべく、特に緊急措置入院等の精神科救急医療、医療観察法病棟の運営、日本語を解さない外国人患者の受け入れなど、いわゆる行政的医療を着実に実施しているところです。新型コロナウイルス感染症などのような新興感染症への対応に際しては、特に精神科病院入院中

の患者さんが感染し、高度な身体科治療と精神科治療を同時に必要とする場合もありますが、これまでに1000名以上の精神障害がある新型コロナウイルス感染者の方々の入院治療を行ってきました。

今年は大正12（1923）年の関東大震災から100周年に当たります。首都直下型のような地震発災時における

都内精神科医療体制について見直しを要する時期でもあります。私は子ども時代を日本橋浜町で過ごし、小学校でも「関東大震災69年周忌説」を聞かされ、全校放送とともに机の下へ潜る練習を体が覚えるまで訓練されました。大地震への備えには敏感な性分を、不時の対応が苦手な精神障害がある患者さんが大勢入院する当院において役立てたいと願っています。

また、当院は「東京都災害拠点精神科病院」に指定されています。都内に約2万床ある精神科病院が被災した際に、主に入院中の患者さんの中で、措置入院並びに措置入院以外の隔離中・身体拘束中の患者さんの受け入れ機能を備え、災害派遣精神医療チーム（DPAT）が対応できる体制を整えることが求められており、この指定を受けて、災害時の精神科医療提供体制の強化に努めています。

令和5年2月には、日ごろから災害への備えについて協働している都立広尾病院減災対策支援センターの中島康部長とともに当院の職員3名を、熊本地震において甚大な被害を受けた益城病院へ視察に派遣しました。益城病院では大飼邦明理事長はじめ職員の方々から被災体験を元にした

た新たな精神科病院のコンセプトや経験談を伺い、当院でもリサーチのある備えへの取り組みを開始しました。例えば、当院も免震構造とはいえ7階建てです。不測の事態に備えて地上の備蓄庫だけではなく、各階フロアに水や食料、医薬品の備蓄の配備を進めています。発災時には、広い院庭を活かし、東京都災害拠点連携病院としても世田谷区医師会の先生方のご協力のもと、緊急医療救護所の開設等を計画しています。連携強化に向けて顔の見える関係の強化に努めたいと思いますので、よろしく願います。



蛙像は「かえるさん」と呼ばれ、親しまれている

十番稲荷神社

麻布を見守るカエル様

趣味の散歩



■十番稲荷神社
港区麻布十番1-4-6、
地下鉄大江戸線「麻布十番
駅」7番出口からすぐ

昔、古川の岸辺から起こった大火事で、がま池のほとりであった山崎主税助の屋敷だけが無事だった。池の大蛙が口から水を吹いて猛火を退けたため、類焼を免れたのだ。以来、山崎家に御札を求める人々が後を絶たず、山崎家は「上（じょう）」と二文字書かれた御札を万人に授けた。この御札は「上の字様」と称され、防火・火傷のお守りとして信仰を集めるようになったのである。

我が家にもアマガエルとミヤコヒキガエルがいるが、可愛いだけの愛玩的存在であり、水を吹いて火を消すなどという芸当は到底できそうにない。やはり防火は「上の字様」、十番稲荷神社に詣でることしよう。蛙の隣、社殿に向かう石段の脇には桜の木がある。美しく迎えてくれる花姿を見に、来年の春にはぜひ訪れていただきたい。
（港区医師会・緑川道子）

医師国保からのお知らせ

医師国保では組合員の健康保持増進のための
さまざまな保健事業を行っています。

- 特定健診・特定保健指導の実施（従業員や家族の自家健診が可能です）
- 人間ドック受診結果（特定健診部分）のデータ提出への助成
- 乳房エコー検診費用の助成
- 脳血管健康診断（脳ドック）費用の助成
- 契約遊園・宿泊施設等の利用に際しての助成や優待

詳しい内容、申請方法等は当組合ホームページをご覧ください
www.tokyo-ishikokuho.or.jp

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6431（総務課）

東京消防庁救急相談センター

現任・派遣看護師混成体制の開始と5類変更後の対応

今般、救急相談センター受付件数の総数が増加に転じるなかで、「看護師による救急相談」の件数並びに全受付件数に占める割合がますます増加傾向にあります。このような看護師対応の需要増とトラフィック対策の一環として、今年度から看護師が大幅に増員されました。

現任の看護師に加えて、委託業者登録の約30人の看護師が、曜日・時間帯による業務の繁忙度合いの予測に基づいて、1勤務帯あたり1～8人で現任体制を支援しています。派遣看護師は、看護師長並びに研修担当看護師、医長、副医長による事前研修を受け、オンジョブ評価の後に、現任看護師と混成して実務にあたっています。

また、本年5月8日（月）に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染症法上の位置付けが5類に変更されたことを受けて、東京都医師会救急委員会救急相談センター運用部会が現在の感染流行や医療機関の状況等を鑑み、COVID-19対応で変更や改訂を余儀なくされていた「発熱プロトコル」を始めとした運用規定を元に戻しています。

今後も引き続き相談者の緊急度に応じた適時の受療を支援するために、皆様方の一層のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

東京消防庁救急相談センター受付状況（速報値）

[令和5年1月1日から3月31日まで]

	累計	前年件数	前年同時期増減 (増減比)	受付件数に 占める割合	前年 同時期	1日 あたりの 件数
総着信件数	120,974	112,524	8,450 (7.5%)			1,344.2
受付件数	108,620	103,283	5,337 (5.2%)	—	—	1,206.9
救急相談	67,939	62,518	5,421 (8.7%)	62.5%	60.5%	754.9
救急要請	12,239	10,149	2,090 (20.6%)	(※1) 18.0%	(※1) 16.2%	136.0
医療機関案内	40,284	40,295	-11 (0.0%)	37.1%	39.0%	447.6
相談前救急要請	288	204	84 (41.2%)	0.3%	0.2%	3.2
かけ直し依頼	109	266	-157 (-59.0%)	0.1%	0.3%	1.2
その他(苦情)	0	0	0 (0.0%)	0.0%	0.0%	0.0
応答率(※2)	89.8%	91.8%	-2.0%			

(※1) 救急相談件数に占める割合

(※2) 応答率とは、総着信件数に占める受付件数の割合（応答率＝受付件数÷総着信件数(%)）

看護師への医師助言	5,853	7,248	-1,395 (-19.2%)			65.0
通信員への医師助言	1,410	2,981	-1,571 (-52.7%)			15.7

豊島区医師会

小泉元彦

くにやクリニック院長・
ボクシングプロトレーナーボクシングのセコンド
～どんな仕事をしている?～

私は恐らく世界的にも稀な`脳神経内科医のボクシングプロトレーナー'と自負しています。医師の中で脳神経内科自体が少ないですし、ましてプロのトレーナーライセンスを持っている人は多分いないと思います。そんな私ですが、コロナ禍前は実際にプロの試合にセコンドとして参加していました。セコンドとは試合中に選手をサポートするスタッフのことであり、アドバイスをする、傷の処置をするなどが仕事です。とりわけ医師であることから傷の処置をする専門スタッフ(=カットマンといいます)として参加しています。恐らく日本中探しても医師がカットマンをする例は稀なので、専門職として役に立てていることに喜びを感じています。

さらに意外に思うかもしれませんが、セコンドは試合前の方がやることが多いです。特に試合で使う物品準備がとても重要です。用意する主なものは次の通りです。

- ・ペットボトル入りの水(500ml)を複数本
- ・バケツ
- ・氷
- ・アイスバッグ(氷嚢)
- ・エンスウェル
- ・バンテージやテープ類
- ・ワセリン

この中で、ペットボトル入りの水とワセリンは事前に購入しておきます。なぜかという、会場によっては自販機にちょうど良い水が売っていないことがありますし、ワセリンは薬局でないと買えないからです。このため会場入り前に揃えておかないといけません。また、水道橋にある後楽園ホールであれば大丈夫ですが、地方会場では氷の準備がなく事前購入しておかないといけません。今はコンビニやスーパーで氷を売っているので助かりますが、かつては自宅冷凍庫で作っていたらしいです(体験者談)。

そして会場についた時点で、バケツに水と氷を投入して冷やします。この時にペットボトル、氷嚢とエンスウェルも冷やしておきます。これは試合中に選手から熱を取ることを円滑にするためです。ちなみにエンスウェルとは腫れを抑える金属であり、これをうまく使うことで腫れた場所への対処が可能です。

このようにセコンドの仕事は試合前、といいますか会場に入る前から始まっています。準備をスムーズにすることで、現地で慌てる

ことがなく、選手の負担やストレスを減らす効果もあると思います。

そして試合が始まれば、戦況を見てどう対処するかを考えておきます。傷ができればその対処が必要ですし、殴られて赤くなっている箇所があれば速やかに対処します。これが大きな傷や腫脹を抑えることにつながるので、今までの臨床経験が本当に役立っています(特に脳神経外科の知識は重要です)。

これがセコンドの仕事ですが、まだまだ伝え切れないやりがいがたくさんあるのも事実です。そして改めて振り返ると、試合開始前の準備がいかに大事であるか実感する次第です。コロナ禍でセコンドをしなくなって久しいですが、いつの日か復帰できることを願う今日この頃です。

(豊島区医師会会報 令和5年3月 第143号より抜粋)



実際の試合で
処置する筆者



「雪月花ふるダイヤモンドダスト PART1」

豊島区医師会 猪狩和子

知ってますか?

PDCA
(Plan・Do・Check・Action)

物事を実行する時に誰しも計画を立てるように、医師は医療提供において、患者に合わせた診療計画を立案する。「Plan」では、実行する目的、つまり“何を達成したいのか”という計画と、“どうやって目的を達成するのか”という実行計画の2つを立案する必要がある。「Do」では、資源を揃えて実行する。「Check」には測定と評価、「Action」には対策・改善の2つの意味がある。

例えば、介護者と意思疎通を図るためには「コミュニケーション」が取れないといけない。その手段となる既存のタブレットやスマートフォン、AIスピーカーなど、日進月歩に向上するシステムを駆使した意思伝達方法や、これらの機器による医療者の働き方改革にまで触れていて、情報量は非常に多い。「Bluetooth」や「GPS」など、聞いたことあるが実はよく分からない、という人には一読により知識の整理に非常に有益な一冊。

発行▼日経BP 価格▼1760円(税込)

掲示板

患者+医師だからこそ見えた
デジタル医療
現在の実力と未来

高尾洋之 著



脳神経外科の医師である著者は、朝起きると突然の左下肢の脱力発作に見舞われた。救急車で病院に行くも診断はつかず、この日のうちに意識消失し、人工呼吸器が必要になる。後にギラン・バレー症候群と診断されるも、そこから四肢の自由を失い、長い闘病生活を強いられる。現在も車椅子へ自ら移動することもできない状態であるが、覚醒後は意識もしっかりして、当然伝えたい欲求があり、そのためにIT技術が相当程度有益であることの紹介が、実例と共に詳細に記されている。

例えば、介護者と意思疎通を図るためには「コミュニケーション」が取れないといけない。その手段となる既存のタブレットやスマートフォン、AIスピーカーなど、日進月歩に向上するシステムを駆使した意思伝達方法や、これらの機器による医療者の働き方改革にまで触れていて、情報量は非常に多い。「Bluetooth」や「GPS」など、聞いたことあるが実はよく分からない、という人には一読により知識の整理に非常に有益な一冊。

無声拝聴

匙加減いい塩梅

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した5月中旬に本稿を書き始めた。改めてCOVID-19 (Coronavirus disease 2019) を振り返ってみて、感染症医の端くれとして免疫抑制の不思議さを思わずにはいられない。

私は大学院生として東京大学医科学研究所の島田馨教授の研究室の門を叩き、医学の道を志したが、「ステロイドの匙加減ができるようになったら一人前の感染症屋になれる」とご教示を受けた。重症カリニ肺炎（現在はニューモシスチス肺炎）にはステロイドを使う。結核症にも、重度の髄膜炎にもステロイドを使用するタイミングはある。そして、今回の新型コロナウイルス感染による重症肺炎でも、デキサメタゾンが2020年7月に本邦で2例目の保険認可薬になった。デキサメタゾンなどのステロイド剤は、中途半端に使用すれば新たな感染症発症のリスクを高めるが、免疫調整のためにやむなく使用する現状がある。今回も世界で多くの呼吸器科医を中心とした臨床現場での格闘の末、デキサメタゾンの使用が海外のガイドラインに掲載され、本邦のガイドラインにも載った。経験に培われた匙加減から投与量が決められて、実に多くの重症肺炎から尊い命が救われたと思う。

私は未だ感染症屋の端くれであり、ステロイドの匙加減を語れる域には至っていない。医療のみならず、「匙加減をいい塩梅にするにはどうするか」と悩む今日の課題である。（菊池嘉）

都医からのお知らせ

INFORMATION

第460回 国際治療談話会 例会

「脳卒中後遺症とうつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法 (rTMS)」

問合先

(公財)日本国際医学協会 事務局 東京都世田谷区上馬1-11-9-3F
TEL: 03-5486-0601 FAX: 03-5486-0599 E-mail: imsj@imsj.or.jp
協会ホームページ: <https://www.imsj.or.jp/>

日時▶ 7月20日(木) 19時～21時 形式▶ WEB 講演
開会挨拶▶ 石橋健一 ((公財)日本国際医学協会 理事長)
座長▶ 谷口郁夫 ((公財)日本国際医学協会 理事)
【第1部】感想▶ 「スポーツドクターのお仕事～サムライブルー帯同活動から～」土肥美智子 (日本サッカー協会診療所 院長／立教大学スポーツウエルネス学部 特任教授)
【第2部】講演 I ▶ 「うつ病へのニューロモデュレーション療法と最新のトピックス」鬼頭伸輔 (国立精神・神経医療研究センター 精神診療部長／ニューロモデュレーションセンター 長)
講演 II ▶ 「脳卒中後遺症に対する反復性経頭蓋磁気刺激療法」安保雅博 (東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 主任教授)
取得単位▶ 日医生涯教育制度1単位 (CC: 70、78) 取得予定
申込方法▶ 右記QRコードまたはZoomウェビナーページ
<https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_k6hd2rLuQWOriuJ1aSGp0w#/registration>より、事前にご登録ください。
視聴▶ 無料



東京都医師会「医学研究賞」「グループ医学賞」募集

東京都医師会では「東京都医師会医学研究賞」「東京都医師会グループ医学賞」を設けております。令和5年度も募集を行いますので、所属の地区医師会へ要綱等をご確認のうえご応募ください。

■医学研究賞

表 彰：医学研究賞・若干名(助成費各100万円)、奨励賞・若干名(助成費各30万円)

* 研究賞以外の優秀な原著論文を発表した筆頭著者に対し奨励賞を贈る * 臨床医学(社会医学を含む)分野および基礎医学(臨床への貢献が期待されるもの)分野の応募数を勘案して選出する

応募資格▶ 東京都医師会会員であること。 * 平成30年度から令和4年度の本賞受賞者を除く

対 象▶ 臨床医学(社会医学を含む)、基礎医学(臨床への貢献が期待されるもの)の分野において優れた原著論文を発表した筆頭著者、またはequally contributed author(複数筆頭著者)。原著論文は令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)発行の学術雑誌に発表されたもの。

* 1人につき1論文とする * 発表年月は冊子体のものを適用とするが、オンライン掲載のみの場合はこの限りではない * 応募者は共著者の承諾を得ること * 同一研究によるグループ医学賞との重複応募は不可とする

応募方法▶ 候補者調書に原著論文一篇を添付のうえ、所属地区医師会経由で提出する。

■グループ医学賞

表 彰：1～2グループ(助成費各100万円)

応募資格▶ 東京都医師会会員が所属するグループ。但し、代表者は本会会員であること。

* 平成30年度から令和4年度の本賞受賞グループを除く

対 象▶ 地域において臨床・社会医学の研究あるいは医療の実践に優れた業績をあげたグループ。

* 対象外 ①大学間のみでの共同研究 ②委託事業 * 同一研究による医学研究賞との重複応募は不可とする

応募方法▶ 応募用紙にグループ研究・社会医学活動の内容を証明し得る資料を添付のうえ、代表者の所属する地区医師会経由で提出する。

◎表彰式・講演会等

両賞受賞者には、表彰式において表彰するとともに、受賞内容についてご講演いただく予定です。また、東京都医師会雑誌に受賞内容の概要をご執筆いただきます。

◎受付期間

令和5年9月1日(金)～9月29日(金)(東京都医師会必着)

◎お問い合わせ先

東京都医師会 広報学術課 TEL: 03-3294-8821(代)

地区医師会長からの一言

Chat GPTならぬAI
(足立区医師会)を目指して

足立区医師会長 阿部 聡



このたび、2022年7月より足立区医師会長を拝命しました阿部聡です。地区医師会長からの一言ということで、そもそも地区医師会長とは何たるかという素朴な疑問にぶち当たりました。そこで、いまはやりの対話型AI「Chat GPT」に、会長としての資質に関しての助言をお願いしてみました。

「会長としての資質に関する助言をお探しとのことですね。以下に、会長として必要な資質についていくつかご紹介いたします。

リーダーシップ能力: 医師会長としては、メンバーやスタッフを引っ張っていくことが求められます。そのため、組織をリードするためのリーダーシップ能力が必要不可欠です。メンバーやスタッフのモチベーションを高めることができるような、明確なビジョンや方針を策定することが重要です。

コミュニケーション能力: 医師会長としては、多くの人とコミュニケーションを取ることが求められます。会員やスタッフ、関係機関など、さまざまな相手に対して、適切な情報を伝えることができるコミュニケーション能力が必要です。また、聴取能力やフィードバックを行う能力も必要です。

問題解決能力: 医師会長としては、組織内外で起こる問題に対して迅速かつ適切に対処することが求められます。そのため、問題解決能力が必要不可欠です。問題を深く分析し、適切な解決策を見つけ出す能力が必要です。

プロフェッショナリズム: 医師会長としては、医師としてのプロ

フェッショナリズムを維持することが求められます。組織のイメージを高めるためにも、専門性や倫理観を保ち、メンバーにもその姿勢を示すことが大切です。

以上が、医師会長として必要な資質の一例です。これらの資質を持って、会員の皆様や関係機関と協力し、組織を発展させていくことをお祈りしております」

やれやれ、これは困りました。元来、脳外科医である私は、学生時代に某外科系教授のありがたいお言葉「外科医は体力さえあればいい。頭はついていだけで、前か後ろかが分かるだけでよい」を金科玉条として医業を行ってきました。今更、AIの理想とする医師会長などになりようはずもなく、会員諸先生方の反面教師となるしかないかと腹をくくった次第です。

足立区医師会ではコロナ禍をきっかけに、PPE（個人防護具）の訓練は月2〜3回、都合3年間で100回を超え、医師・看護師はいうまでもなく、事務・介護職を併せて延べ3,000人を超える参加を数えております。ワクチン接種はオミクロン株までに、医師会館と会員施設で51万回接種しており、行政の約2倍を担いました。下町の人情を持った世代と若い子育て世代の異なる文化が混ざり合い、区民と行政・医師会が程よく協力し合える関係となっております。医師会自体が区民生活の重要な一翼を担っている現状を更に強固なものにできればと思っております。ますますのご指導ご協力をお願いいたします。